

第5回 Create Japan WG（概要）

○ネットワーク

- ・ 中核組織に必要なのはステークホルダーからの信用と共感。権威付けは必要ない。
- ・ 中核組織のミッションは、連携を潤滑にすることとリサーチ。イベントを実施すること自体には反対しないが中核組織の主要ミッションとすることには反対。
- ・ イベントについては、オタクサミットなどのイベントをどう活用するか。どう連携させるかを考えたほうが、成功率が高い。
- ・ イベントの実施については、ブレインチームで決めればよい。
- ・ 中核組織のリサーチ部隊とネットワーク部隊を持ち続けられるだけのベースロードを3年間保てるような予算は確保いただきたい。
- ・ リサーチと広報について、外国人視点を身近に共有してもらおう体制は作りたい。
- ・ 地域毎に代表となる人を作っておき、知見が必要になったときに、聞けるような外国人のネットワークを作っておくべき。
- ・ 中核組織は、指標もおいて、役割とアウトプットを明確にしたほうが良い。

○日本の魅力の発信

- ・ デジタル時代に対応した発信について、デジタルとリアルのバランスも必要。展示会はデジタル化が進んでなくなると思われていたが最近になって復活した。リアルもきちんと取り組む必要。

○新たな戦略の書き方

- 具体的な成果はファクトを書いたほうがよい。これまで失敗だったという風に見えてしまう。ファクトを並べると世の中が認識しているよりうまくいっていることがわかる。
- レポートの信頼性の観点からは、反省点も正直に書かないといけない。
- 本文でネガティブなことを書くことは、他人への批判ではなく、自己の反省をしていて、責任感があるように見えるので好印象。